

令和6年度学生インターン事業 課題解決型ワークショップ参加団体課題一覧

※具体的なスケジュールは観光協会と協議・調整しながら実施していただきます。

課題番号	団体名	団体概要	団体一言PR	地域における観光課題や観光協会が抱える課題	ワークショップに期待すること・提供できる資料	実施予定期間、その他
A-①	一般社団法人 昭島観光まちづくり協会	当会は、昭島の良さをより多くの方々に知っていただくための活動を行うことにより、この地域が更に元気で活力ある「まち」となることを目指しています。市や商工会を始め、市内の各団体・企業と連携し、合同の事業も行っています。  HP <a href="https://akishima-kanko.org/">https://akishima-kanko.org/</a>  主な事業 ①あきしま町あるきの開催(月1回) ②観光案内所の運営 ③昭島ロケーションサービスによるロケの誘致 ④写真募集イベントの開催 ⑤ワークショップの開催(年数回) ⑥あきしま郷土芸能まつり(毎年5月)の主管	事務局は少人数で運営しているため、企画から決定まで、常に迅速に事業を実施しています。  予算の問題もあり、費用的に大がかりなものは実施できませんが、マンパワーと企画内容の良さで実現できるものは、積極的に取り組んでいます。	「あきしまの水×食」をいかしたブランディング構築  昭島の水道水は深層地下水100%でミネラル豊富で美味しいと言われている。一方、昭島にはこれといった郷土料理がない。昭島の水を活用した料理や飲み物を提供しているお店は少なくないので、それを点で繋ぎ、面にしてみたい。	飲食をきっかけに昭島への来街を促したい  ○以下の資料の提供が可能 昭島市観光ガイド(昭島市産業活性課作成)、あきしま名店お散歩マップ(昭島市商工会作成)	実施スケジュールは、相互で調整しながら進めていきたい
A-②				少人数限定の昭島ロケ地ツアーの企画・実行 ※R5学生インターンシップ参加学生の企画提案  実際にロケに関わったスタッフや市民エキストラをナビゲーターにした少人数限定募集のロケ地めぐりの企画を作りたい。、昭島で撮影を行ったロケ地を巡り、参加しないと体験できない見学や「ここでしか聞けない話」を体験の仕組みを作るには？	自治体×観光協会×ロケの取組を知ってみたい  ○以下の資料の提供が可能 ロケ記録(当会内資料、一般非公開)	
A-③				昭島というまちの認知度・知名度アップ  昭島市民が「昭島市に住んでいる」ことを誇りに思えるよう、「昭島市」の認知度をアップしたい。近隣の立川市、八王子市に比べて知名度が低い。	「『～』といたら『昭島』というキーワードやインパクトがある昭島のキャッチフレーズの創出  ○以下の資料の提供が可能 当会HPの町あるきの活動報告で第79回以降の記録が閲覧可能。それ以前の活動報告はデータで提供	
B-④	一般社団法人 こだいら観光まちづくり協会	こだいら観光まちづくり協会は、小平市の観光まちづくりを推進するために平成28年6月28日に設立された地域・民間主体の組織です。小平市が平成26年3月に策定した、小平市の観光まちづくり10カ年計画「小平市 観光まちづくり振興プラン」を推進するとともに、「観光まちづくり」をキーワードに幅広く小平市の地域活性化に尽力していきます。地域内外の人の交流が活発になり、地域の産業(農業・商工業)に刺激となり、市民が地域に誇りや愛着を持ち「住み続けたい」と思えるようなまちづくり。さらには、新たに「小平市に住んでみたい」と考える人が増えるまちづくりを目指しています。  ふらっとNAVI ～こだいらに来ないか <a href="https://kodaira-tourism.com/">https://kodaira-tourism.com/</a>  主な事業: まち巡り、オープンガーデン、丸ポスト、ブルーベリー栽培発祥地等	小平は観光地ではありませんが、当会では見落とされていたものに光を当て、『訪れたい、住み続けたいまちづくり』を目指しています。市民が快適に生活でき、住んでいるまちに愛着や誇りを持ち、市外からの来訪者にも感動してもらえる「小平が好き」という人が増えるような魅力ある観光まちづくりのために、私たちの抱える課題と一緒に取り組んでくださる皆様のご応募をお待ちしております。	対来訪者への「まち巡りガイドツアー」のPR  当会では、小平の魅力を知っていただけるよう、まち巡りガイドツアーに力を入れている。市報を見て応募する人が多いため、市内からの参加者が大半を占める。市外からの参加者にどう呼びかけるかが課題である。	まち巡りガイドのコースの短い動画をスマホで撮影して、協会のHPやSNSで発信する等、効果的な方法をご検討いただきたい  ○以下の資料の提供が可能 『小平まち巡りガイドツアーについて』 <a href="https://kodaira-tourism.com/machimeguri/">https://kodaira-tourism.com/machimeguri/</a>	実施スケジュールは、相互で調整しながら進めていきたい
B-⑤				オープンガーデン事業の活性化  当事業は、開始から20年を超え、市内外から訪れる人も多いが、オーナーの高齢化の問題、また肥料代、水道代など個人の負担も課題である。オーナーを支援する持続可能な仕組みを作りたい。	甲虫を育て子どもたちが甲虫狩り体験ができるイベントを実施し、売上をオーナー支援に充てる甲虫プロジェクトの実現  ○以下の資料の提供が可能 『こだいらオープンガーデン』 <a href="https://kodaira-tourism.com/greenroad/opengarden/">https://kodaira-tourism.com/greenroad/opengarden/</a>	
B-⑥				地域資源(現代文化)を活用した体験プログラム造成とPR  地域資源を掘り起こし、それらを保全・活用した体験プログラムや集客コンテンツの開発、仕組みづくり、PR方法が課題である。市内にある地域資源の魅力を知らず、楽しんでもらうための体験型アクティビティプログラムの開発・事業化に向けて、大学生のアイデアを生かしたい。	松任谷由実やスピッツの曲の舞台、笹沢左保の家、松本清張ゆかりの書店、多くの文化人の眠る小平霊園、アニメで取り上げられたスポットなどについて、協会のHPやSNSで発信等  ○以下の資料の提供が可能 『こだいらグリーンロード』 <a href="https://kodaira-tourism.com/greenroad/">https://kodaira-tourism.com/greenroad/</a>	

課題番号	団体名	団体概要	団体一言PR	地域における観光課題や観光協会が抱える課題	ワークショップに期待すること・提供できる資料	実施予定期間、その他
C-⑦	式根島観光協会	<p><b>概要:</b> 式根島観光協会は、式根島の観光全般のPRや案内窓口をメインとし、式根島の島づくりやオリジナルグッズなどを販売しています。他にも様々な業務があり、式根島のなんでも屋さんです。 URL=https://shikinejima.tokyo/</p> <p><b>体制:</b> 職員4名(正職1名、フルタイム1名、パート2名)</p> <p><b>主な事業:</b> 観光PR、観光案内業務、ガイド業務、SNS等配信、連絡船にしき委託業務、新中央航空委託業務、島内外イベント、オリジナルグッズ製造販売、その他事業多数あります。</p>	<p>式根島には、伊豆諸島の中で唯一、戦前からの天然温泉(地鈍温泉・足付温泉)がありました。※式根島以外の温泉は、戦後掘り出した温泉です。</p> <p>また、東京諸島(大島～母島まで)の中で、一番小さな島ですが、チャレンジアイランドと名を打ち、様々なことに挑戦している島でもあります。</p> <p>例 サスティナブルツーリズム、ジオキャッシング、電気自動車、電子マネーの利用が約8割近くなど</p>	<p><b>閑散期(10月中旬～GW前)対策</b></p> <p>式根島は観光産業が盛んで、約8割近くの方が観光従事者である。そんな式根島の観光シーズンは、ゴールデンウィークから10月初め頃までとなり、それ以外は閑散期となる。数十年前までは、湯治場としても栄え、冬に体をリフレッシュするために、式根島に足繫く通い、3泊～最大で数週間滞在する方が多く見受けられたが、近年は湯治客も少なくなった(高齢化により昔から来ていた方が来れなくなる等)。そこで、閑散期対策の強化を図るために、新たな温泉の利活用を考えていきたい。</p>	<p>この島には、中学校までしかなく、高校生や大学生の意見が少ないため、若者目線で式根島の課題解決に向けた施策を検討しながら「温泉をテーマとした島づくり」の活動を共にこなっていただける方々と一緒にできることを希望します。</p> <p>○以下の資料の提供が可能 式根島観光協会が毎年まとめた資料(WebSNS実態調査票)をご覧いただけると式根島の現状等がわかります。</p> <p>式根島観光協会ホームページ <a href="https://shikinejima.tokyo/blog/news/3902/">https://shikinejima.tokyo/blog/news/3902/</a></p>	<p>対応しやすい時期は、10月～2月までの閑散期となりますが、実施スケジュールは、相互で調整しながら出来る限りタイミングを合わせたいと考えております。</p>
C-⑧				<p><b>温泉を利用した島の宣伝PR</b></p> <p>SNS等を通じた温泉の効果的な宣伝やPRが出来ていない。どのように宣伝PRをすれば良いのかわからない。PR動画を作るなら?ゆるキャラを作るなら?利用者を増やすには? ※温泉についての知識を有するグループを歓迎</p>		
C-⑨				<p><b>温泉の歴史遺産化</b></p> <p>式根島には温泉が古くから存在するのは知られているが、正確な部分はよくわからない状況で、さらに、歴史的な文字(温泉に入って体が癒された方や治った方が再度お礼参りに来た際に掘ったとされる名前など)については、過去に調査したことがなく、実際にどのくらいの数が存在するか不明である。このような歴史的価値もある式根島の温泉を後世に伝え、守るためにも、しっかりとした調査研究をしてほしい</p>		
D-⑩	公益社団法人八王子観光コンベンション協会	<p>所在地 〒192-0083 八王子市旭町1-1セレオ八王子北館9F</p> <p>設立目的協会は、八王子市及び周辺地域と連携し、当市の緑豊かな自然、歴史・文化、学術や産業など多様な地域資源を育成・活用して、参加体験型の魅力ある観光事業と交流人口の創出に資するコンベンション事業の振興を図るものとする。これにより、地域の産業と経済を活性化させるとともに、文化の交流促進と公共の福祉増進に寄与することを目的とする。</p>	<p>2回目の取組なのでまだ不慣れな点も多いかとおもいますが、お互いにとって有意義な機会になればとおもいます。 よろしく願いいたします。</p>	<p><b>新規来訪者(若年層)の獲得</b></p> <p>高尾山の来訪者の属性は50代が5割を超え、10～20代の若年層の割合が1～2割と低く、若年層の新規来訪者の獲得は継続的な課題である。 Instagramを使って情報収集する若年層が求める観光情報について提案してほしい。 特に10～20代の来訪者が多い秋の紅葉シーズンに向け、事前に紅葉シーズンの情報整理やPRを行って、新たなフォロワーの獲得に繋げてほしい。また協会側もワークショップを通じて、若年層の情報発信について手法を習得したい。</p> <p>※現状:秋期の10代20代の割合16.2% → 目標:19% ※高尾山来訪者調査に対する実態調査より Instagramの10代20代の割合4.6% → 目標:8% ※2024年3月時点のInstagramアカウント(go_to_takaosan)のフォロワー数より</p>	<p>学生ならではの視点で考える八王子の魅力や課題を解決する提案を期待しています</p> <p>○以下の資料の提供が可能 ・高尾山来訪者調査に対する実態調査 ・Instagram@go_to_takaosan ・インサイトデータ ・Instagram@hachiojivisit ・インサイトデータ</p>	<p>7月は花火大会の準備等があり、8月中旬以降の開始が好ましい。また繁忙期(11月)の対応は難しいが、それ以外は、ゼミのご提案により、柔軟に調整可能</p>
D-⑪				<p><b>日本遺産認定及び構成文化財の認知度向上</b></p> <p>八王子市は、都内で唯一の日本遺産に認定されているが、構成文化財についての認知度は低い。 日本遺産認定及び構成文化財及びストーリーの持つ魅力を活かした市内の回遊性を高めるようなモデルコースを、学生ならではの目線で提案してほしい。 ※ モデルルート体験ツアーの実証実験等</p>		